

つなげよう つながろう ふたばのわ

コミュニティ情報紙「ふたばのわ」は、
町民皆さんとそれを支える全ての人を巻き込み
それぞれの思いやあらゆる情報に
共有・共感できる紙面をめざしています。
月に一度、ふたばのわのページをめくって
みんなで一緒に笑顔になりませんか。



表紙は第6回双葉町民交流パークゴルフ大会(いわき市)

- ▶ 七夕企画!!取材先で聞いたみんなの願い事(P2~3)
- ▶ 手と手を取り合って~ふくしまあじさい会~(P4)
- ▶ INTERVIEW 大川義秋(P5) ▶ スマイルフォト・夏祭り情報・双葉町企画展(P6)
- ▶ お知らせ・双葉町伝統芸能保存プロジェクト(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・ブログふたばのわ(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: 双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

 町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



取材先で聞いたみんなの願い事

6月13日(木)

ふくしまあじさい会 定例交流会

(栃木県下野市)



いつも元気に明るくいこう!
鴻章 志賀 仁

町民の方々が今住んでいる所で
幸せに暮らせますように

三字
北村 雅

5月28日(火)

勿来酒井団地 タブレット教室

(いわき市)



JR常磐線が開通したら電車に
乗って双葉町に行きたいです
鴻章 松浦 トミ子

毎日元気になれるように
長塚 二 國分 信一

体重を減らしたい
石熊 本田 実

6月8日(土)

双葉町民交流 パークゴルフ大会

(いわき市)



娘が私と試合できるくらい
バレーが上手くなりますように
三字 高野 麻里

娘の健康第一
三字 高野 慎哉

スポーツしながら
楽しく過ごしたい
郡山 今泉 祐一

絆を大切にみんなと
助け合いながら過ごしたい
長塚 一 横山 勝朗

5月23日(木)
八山田団地
タブレット教室
(郡山市)



町配付のタブレットで利用できる
脳トレが上手くなりますように
三字 溝井敏正

健康で暮らせるように
下条 三浦定雄

健康で長生き
山田 秋元ヨシエ

健康第一
下条 草野環

健康でいたいです
山田 阿部さなえ

毎日元気で生きたい
郡山 木村クニ子

5月29日(水)
ひだまりサロン
(南相馬市)



孫に野菜の成長を知ってほしい!!
長塚一 岩元厚子

2024パリオリンピックを
見に行くぞ!!
下長塚 福田英子

双葉町への出入りが
早く自由にできますように
三字 伊澤和夫

花を愛で毎日楽しく
生きていきます
下長塚 志賀徳子

6月8日(土)
箏とギターの
ポップ・コンサート
(飯館村)



箏の演奏で多くの方に
癒やしを届けたい
下条 大川義秋

聖火ランナーをやってみよう
下条 山田兼也

5月28日(火)
渡邊一成選手
紺綬褒章受章祝賀会
(いわき市)



世界中の子ども達の
健康を願って
新山 渡邊一成



手と手を取り合って ふくしま あじさい会

栃木県
下野市

「ふくしまあじさい会」は、2011年に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、福島県から栃木県に避難した方々で立ち上げた任意団体です。発足当初は外部の支援団体に助けられながらお茶会等の交流会を行っていましたが、現在は定例会の実施や広報誌の発行など全て会員同士で連携し合い運営されています。

会が平成23年6月に発足したため、季節の花の「あじさい」を会の名前にしました。平成24年に独自運営が始まったのを機に「ふくしまあじさい会」と改称、「孤独感の無い環境を作り、お互い励まし合いながら、ふるさと「ふくしま」へ帰るまで頑張ろう」をスローガンに今年で活動8年目を迎えています。

会員登録数は95人

当初は栃木県下野市に避難した10数人でスタートしました。近隣地区の避難者同士の交流の場が徐々に減りつつある中、「下野市の交流会に行けば、福島の人たちに会える」という口コミが広がったことや、自転車に乗って福島県内ナンバーの車を探し回るなど代表による勧誘の努力が実り会員登録数は95人まで増えました。今では近隣市町村はもちろん、茨城県結城市などからの参加者もあり、定例会などには常に40人前後の会員が集まります。

相双地区の皆さんの交流ができる

双葉町だけではなく、富岡町、浪江町、南相馬市など主に相双地区からの避難者で構成されています。

故郷から遠く離れた場所での避難生活が続く中、地元の話で盛り上がり昔からの友達のような感覚でお付き合いができています。

参加者からは「やっぱり同じ福島の人というだけで気持ちが嬉しくなる。避難者という区別なく受け入れてくれる下野市の人にも感謝です」とのお話を聞くことができました。会の代表である佐々木正教さん(南相馬市)は「復興が進み福島県内へ帰還した方の参加は難しくなっている。でもそれはそれで良いことだから」と今後の活動にも前向きでした。

地域との交流

「ふくしまあじさい会」は地域交流も盛んに行っています。

- 下野市の「コミュニティセンター」友愛館にて定例会(毎月第2木曜日)
- ボランティア作業(自治医大内子ども医療センターの庭園の管理 毎月第3日曜日)
- 福島県内の視察(県内避難者及び帰還者との交流 年3回)
- 地域住民との交流(花見、BBQ、祭りへの参加等)
- 農業体験(田植え、梅収穫、稲刈り、芋掘り)

以上の5つの活動を柱に毎月交流活動を行っています。

孤立者を出さないよう避難者同士のネットワークをつくり、地域に馴染んだ生活を送っていただけるような取り組みを続けられているからこそ、震災から8年経った現在もつながりを求めて下野市のみならず近隣市町村や栃木県外から多くの方が参加しています。

南相馬市
佐々木正教代表



双葉町
志賀仁さん(事務局)



INTERVIEW

大川義秋

(双葉町出身箏奏者)



文化・スポーツなど様々な分野で双葉町出身の若者がめざましい活躍を見せています。震災から8年以上が経過し、若者同士が意見を共有する場やその活動を直接応援する機会は減ってしまいましたが、若い世代の声は復興が進む双葉町にとつて欠かせないものです。今回は、6月8日に福島県飯館村で開催された「箏とギターポップコンサート」にて、箏奏者の大川義秋さんにお話を伺いました。

地元福島での演奏について

東日本大震災による避難で福島県の自然の美しさを痛感しました。福島の皆さんにはこの素晴らしい風景の中で演奏を楽しんでいただければと思います。

双葉町での思い出や双葉町の魅力

私は双葉南小学校に通っていましたが、身近に清戸迫横穴があるなど、町全体に郷土の歴史や文化が色濃く残っていました。自然も豊かで人が温かい。双葉町や福島県全体の人の温かさというのは本当に自慢ですね。

震災当時やその後の避難生活

震災の日は中学校の卒業式でした。式の後に家族と出かけて、自宅に戻った時に地震に遭いました。避難先を転々として落ち着かない日々を過ごしたことは今でも忘れられません。

箏との出会い

高校は避難先の埼玉県の学校に転入しましたが、学校に馴染めるかとても不安でした。まわりに友達もいなかったりで、逆に部員がない邦楽部に入部し

ました。これが箏をはじめたきっかけです。大きな災害に遭い気持ちが落ち込んでいてすぐには立ち直れませんでした。が、そんな時に箏の音色に出会いました。当時は箏を弾くために学校に通っていたようなものです。中学校では吹奏楽部に所属し打楽器を担当していたので、まさか自分が和楽器をやるとは思いませんでしたが。(笑)

箏を演奏するときに大事にしていること。今後の目標

箏の音色というのは、演奏者の気持ちに音が表れるので、自分の心をいかに音で表現するかを大切にしています。今回のコンサートで共演させていただきました香登みくるさんが作曲された曲からはそういった心の部分をすごく感じられることができました。僕の中で特別な作曲家のお一人でした。学生の頃から香登さんの曲はたくさん演奏してきましたし、いつか共演したいとずっと思っていました。以前、隅田川の近くで東京都公認へブナーテイストとして路上パフォーマンスをしていたところ、香登さんが見に来てくださり、そこからお付き合いをさせていただく中で、今回の共演が実現しま

した。今後は、僕の経験のように、お客さんに寄り添い心と心を音楽で繋げられるような活動を続けていきたいと思っています。

双葉町の復興と双葉町のこれから

震災から8年以上が経ち、記憶が薄れている人もいるし、震災を経験していない子どもたちもこれから増えてきます。双葉町でもいづれ学校が再開されると思いますが、被災地というだけではなく、災害でどんな経験をしたのかもきちんと語り継がれる町、世代を問わず誰もが言葉と言葉で触れ合うことができる町になればいいと思います。

双葉町の皆さんへメッセージを願います！

緑豊かで歴史や文化もたくさんある双葉町が変わらぬ姿で残ってほしいです。私も双葉町出身者として町の皆さんと一緒に未来を創っていかれたら嬉しいです。また、演奏活動を続けることで故郷に貢献出来ればと思っていますので、引き続き応援よろしくお願いたします。

大川義秋プロフィール

福島県双葉町出身。

東日本大震災後、福島第一原子力発電所の事故の影響により埼玉県に避難。転校先の高校の部活動にて箏と出会う。和楽器をより楽しく届けるため、自身でデザイン、縫製まで手がけた衣装を身にまとい、邦楽・洋楽・ポップミュージックなど独自にアレンジした楽曲を国内外問わず演奏。

また津軽三味線北村流名取「北村貴秋」としても活躍中。

ふたさほのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



5月23日(木)
健康運動教室(郡山市)



5月23日(木)
八山田団地タブレット教室
(郡山市)



5月25日(土)
町立幼稚園・小学校合同運動会
(いわき市)



5月29日(水)
ひだまりサロン(南相馬市)



6月8日(土)
双葉町民交流パークゴルフ大会(いわき市)



夏祭り情報

- 7/19(金) ▶ 双萩会 納涼会
- 7/19(金) ▶ 県北ふたば会 夏祭り
- 8/3(土) ▶ 双葉町県中地区自治会 盆踊り大会
- 8/3(土) ▶ 双葉町つくば自治会 つくば夏祭り
- 8/10(土) ▶ 夢ふたば人主催 盆踊り
(復興公営住宅勿来酒井団地内)
※いわき・まごころ双葉会が協賛しています。
- 8/17(土) ▶ 県南双樹会 盆踊り大会
- 8/24(土) ▶ 双葉町埼玉自治会・
はなみずき婦人学級 盆踊り



※6月17日時点の情報です。

自治会、町民グループさまの交流会、イベント情報などございましたら、この掲示板をご活用ください。掲載ご希望の場合は、双葉町復興支援員(ふたさほ)までお知らせください。

双葉町企画展

双葉町のいまとこれから

8/1より
スタート

開催期間 8月1日～8月31日
会場 中間貯蔵工事情報センター
(双葉郡大熊町大字小入野字向畑256)
開館時間 10:00～16:00
休館日 毎週日・月曜日(月曜が祝日
の場合は翌平日)、年末年始
入館料 無料

「中間貯蔵工事情報センター」では、中間貯蔵工事の進捗や福島県の環境再生に向けた取り組みを紹介しています。8月1日から、同館内で双葉町の過去、現在、未来をパネルや写真等で紹介する企画展「双葉町のいまとこれから」を開催します。皆さま、ぜひお立ち寄りください。

実施協力 環境省

お知らせ

弁護士相談窓口

中間貯蔵施設に係る弁護士相談窓口のご案内(7月・9月)

◆開催場所及び開催日時

開催場所 双葉町いわき事務所

開催日時 7月25日(木)・9月19日(木)
[午後2時～午後5時]

◆申し込み方法

事前申し込みになりますので、右記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

◆申し込み・問い合わせ先

建設課 復旧復興係 ☎0246-84-5209
受付時間 午前8時30分～午後5時15分(平日)

情報

～学生等の皆さんへ～

ふくしま大卒等合同就職面接会を開催します

令和2年3月新規大学等を卒業予定の方、平成29年3月以降に大学等を卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。是非ご参加ください。

●開催日時 令和元年8月8日(木)

～「ユースエール認定企業」を中心に県内企業250社が参加予定～

実施内容	合同就職面接会 13時～16時
会場	ビッグパレットふくしま(郡山市南二丁目52番地)
お問い合わせ先	福島労働局職業安定課 024-529-5396

●主催 厚生労働省福島労働局(新卒応援ハローワーク、ハローワーク)、福島県



- 事前申込不要、お気軽にお越しください。
- 参加事業所は開催1週間前までに、福島労働局ホームページ上で公開します。
- 事業所ブースにおける人事担当者との面談、採用計画等の求人情報提供、ハローワーク等各機関による職業相談・情報提供等を行います。



双葉町の記憶と記録を未来へ

双葉町 伝統芸能保存 プロジェクト

3

連載3回目となる今回は田植踊りについてご紹介したいと思います。

寒冷地である東北地方に広く伝わる田植踊りですが、福島県内でも会津地方に約40カ所、中通り地方に約10カ所、浜通り相双地方に約40カ所分布していました。

相双地方はヤマセによる冷害でたびたび飢饉に見舞われ、多くの犠牲者が出たために豊作への願いが、特に強かったことによるといわれています。

相双地方への田植踊りの伝来については、歌詞に「小名が浜」や「住吉の館」など、いわき地方の地名が見られることから一部にいわきから伝来したと伝えられているところもあるといわれています。

田植踊りは稲の豊作を祈る儀式の一つでその歴史は古く、平安時代の書物にも美しく着飾った早乙女が、太鼓に合わせて田植えをしたさまが記されていました。

双葉町でも山田地区や上羽

双葉町伝統芸能保存プロジェクトは、双葉町の各地域に伝わる伝統芸能をデジタル映像等で記録する取り組みです。地域の人々が長い時間をかけて作り上げ受け継いできた伝統芸能は、地域の結束力を高める要でもあります。故郷の伝統芸能の維持・発展を町全体で考え、次世代に良い形で残すことができる環境・仕組みづくりを町民皆さんのお力添えをお願いいたします。

鳥地区、中浜地区など数カ所に田植踊りが伝えられていて、各地区の青年団等によって継承されてきました。地区によって様々な違いがあり、衣装や歌詞などに各地区の特性がありました。

田植踊りについての資料や文献は少なく、双葉町に伝わっている伝統芸能として把握できていない部分もあります。田植踊りについての情報をご存知の方は情報提供に是非ご協力ください。

お問い合わせ

双葉町教育委員会

☎0246-84-5210

双葉町復興支援員(ふたさほ)

☎0800-2847-0074

(小松)



過去の動画より抽出しておりますので画像が小さくなっております

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和元年6月21日

- ① 福島市 北幹線第二応急仮設住宅 …… 0.11~0.15
- ② 郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.12~0.16
- ③ 郡山市 喜久田応急仮設住宅 …… 0.07~0.55
- ④ いわき市 南台応急仮設住宅 …… 0.05~0.06
- ⑤ 福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.14
- ⑥ 郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.08
- ⑦ 白河市 県白河合同庁舎 …… 0.06
- ⑧ 会津若松市 県会津若松合同庁舎 …… 0.05
- ⑨ 南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.04
- ⑩ 南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.07
- ⑪ いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	令和元年 6月21日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.48
新山	新山公民館	—	0.19
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.23
新山	双葉南小学校	—	0.20
新山	双葉中学校	—	0.18
新山	県立双葉高等学校	—	0.22
新山	中央公園	—	0.23
下条	双葉総合公園	2.60	0.68
下条	双葉町役場	—	0.22
郡山	郡山公民館	1.48	0.36
細谷	細谷公民館	2.31	0.43
三字	三字公民館	2.53	0.79
山田	山田農村広場	24.47	4.32
石熊	石熊公民館	12.10	1.92
長塚	双葉町体育館	6.25	1.05
長塚	長塚二公民館	3.26	0.29

地区	地点	平成24年 4月1日	令和元年 6月21日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.67
長塚	町西住宅	—	0.17
長塚	JAふたば北部営農センター	—	4.93
長塚	双葉北小学校	—	0.62
長塚	ふたば幼稚園	—	1.32
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.31
長塚	双葉町児童館	—	0.25
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.47
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.43
寺松	寺松公民館	3.46	0.95
渋川	渋川公民館	1.48	0.40
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.61
中田	中田公民館	0.77	0.21
両竹	両竹公民館	0.54	0.09
浜野	浜野公民館	0.34	0.06

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶ <http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

Futasapo Mini Column ふたさぽミニコラム

7月といえば七夕。子どもの頃、姉弟と一緒に様々な笹飾りを作って笹いっばいに飾って楽しんだことが思い出されます。その当時は知りませんでしたが、笹飾りにはそれぞれ願いが込められているそうです。折り鶴は長寿、吹き流しは機織りの名人とされている織姫にちなんで裁縫の上達、網飾りは漁網をイメージしており大漁が祈願されているそうです。今月のふたばのわの取材で町民の皆さんの願い事を伺う機会がありました。私の願い事は目下「健康第一」です。

上遠野 佳苗

文字と写真で コミュニケーション ブログふたばのわ

今月皆さんに読んでいただきたいブログは「一つ一つに真心込めて～婦人会プレゼント作り～」です。6月21日、双葉町婦人会の皆さんが、来月栃木県で開催される「集まれ!ふたばっ子」に参加する子どもたちのためにプレゼントを作りました。「子どもたちに喜んでほしい」と心を込めて作業されている皆さんの姿が印象的でした。ブログでは作業当日の様子をご紹介します。ぜひご覧ください。

